OUSU YOCHIEN

学　園　案　内

学校法人　松若学園

小 碓 幼 稚 園

ごあいさつ

２１世紀を生きる子ども達を育てるために

園長 若松元知

幼児期は、人間形成の基礎を培うための大切な時期です。入園されると、お子様は家庭での成長を踏まえて外の世界に足を踏み出します。友達との様々な体験を通して自立への歩みを進め、人とのかかわりを学び、“生きる力” （自分の課題を見付け、自ら学び、自ら考える力、豊かな人間性、健康や体力）の基礎をつくります。

保護者の皆様方も親として我が子が自立するのを手助けし、見守っていくという初めての経験をします。不安を感じ、試行錯誤しながらも、子どもが外の世界で経験したことを共有し、家庭だけではできない子育てを学んでいくのです。

３つの教育目標

たくましい子

心身ともに健やかで、たくましいバイタリティのある子を育てます。

規則を守る子

集団生活の中で楽しく、きまりを守ることのできる子どもに育てます。

感謝する子

仏教精神を基に、感謝の念を養い、情操を培います。

幼稚園とは、お子様の成長だけではなく、親御さんも成長していく場です。近年、家庭の教育力の低下が叫ばれています。子育てとはご両親だけで行うものではありません。家庭（祖父母、親戚なども含む）や幼稚園（学校）、地域など、子どもと関わりのあるすべての人々が協力して行うものです。

幼児教育とは、一人ひとりの個性に合わせて、『あそび』を通して生きていくのに必要な好奇心、知恵、言葉や表現、そして人間関係を学んでいくことです。本園は昭和４２年設立以来、経験豊かな教諭が普段からたゆまざる研究を行い、十分な設備・施設を活用して、上記の理念を基に幼児教育を進展しております。

幼稚園は、お子さんが初めて通う学校です。

子ども子育て支援新制度／幼児教育無償化とは？

本園では、令和２年４月より従来の「私学助成の幼稚園」から「施設給付型の幼稚園（子ども子育て支援新制度の幼稚園)」になりました。

平成２７年４月より施行されている「子ども子育て支援新制度」とは…

① 幼稚園・保育園・認定こども園を通じた共通の給付
② 地域の子ども・子育て支援の充実
③ 認定こども園制度の改善

の３つの柱を中心とした「保護者が子育てについての第一義的責任を有する基本的認識の下に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進」する制度です。

「施設給付型の幼稚園（子ども子育て支援新制度の幼稚園)」となっても、教育内容や開園時間・日数等、お子さんが園で学ぶことや過ごし方等の園生活については従来から変更はありません。主な変更点は、手続きの部分（幼児教育無償化も含む）と保護者の就労状況に応じた預かり保育や子育て支援事業の充実等になります。

また、令和元年１０月より実施されている「幼児教育無償化」とは、「幼稚園や保育所に通う３～５歳のすべてのこどもと、保育所に通う０～２歳の住民非課税世帯のこどもについて、利用料を無料とする」制度です。

私立幼稚園では授業料がその対象となり、保護者負担は給食費、スクールバス協力費、設備協力費、制服・教材等購入費等の授業料以外の費用となります。また、預かり保育の利用料金は保護者の就労状況等により無償化・一部補助となり、給食については世帯所得に応じて減免制度があります。

「幼児教育無償化」については、少子化対策の経済的な面の対策として語られることが多くありますが、それと同時に「すべての子どもに質の高い幼児教育を保障する」施策です。本園では従前から質の高い幼児教育を実施するため邁進しておりましたが、更なる幼児教育の充実を目指してまいります。

幼稚園に関わる制度に様々な変更があり、保護者の方にとっては不明瞭な部分もあるかと思いますが、本園では変わらぬ教育理念を基に幼児教育を進展し、保護者の負担軽減となるよう制度を活用していきます。

幼稚園とは？

幼稚園の根拠法令は学校教育法であり、所管は文部科学省です。「幼児の心身の発達を助長すること」を目的としています。近年、幼保一元化という言葉をよく聞きますが、そもそも幼稚園と保育所では、設立の目的が異なっており、利用方法も異なります。

	幼　稚　園	保　育　所
根拠法令	学校教育法	児童福祉法
所　管	文部科学省	厚生労働省
目　的	幼児を保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長すること	日々保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児又は幼児を保育すること
対　象	満３歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児	保育に欠ける乳幼児（１歳～小学校就学まで）
入園手続き	各幼稚園	区役所
保育内容	幼稚園教育要領	保育所保育指針
教　員	幼稚園教諭免許状	保育士資格証明書
時　間	原則１日４時間（預かり保育も可） 毎学年の教育週数は 39 週以上 夏休みなどの長期休業あり	原則として１日８時間（延長保育あり） 夏休みなどの長期休業なし
職　員 配置人数	１学級３５人以下に１人	０歳児３人に１人
		１・２歳児６人に１人
		３歳児２０人に１人
		４・５歳児３０人に１人

※　保育所については、認可保育所のみ

※　認定こども園は幼稚園・保育所の機能を総合的に提供する施設です。
　　ただし、地域の実情、設置者・自治体の方針により詳細が異なります

ご両親の就労状況などご家庭の状況も含めて、「我が子にとってよりよい環境」を考え、それぞれのお子様、ご家庭に合った園を探していただきたいと思います。

私立幼稚園とは？

私立幼稚園といっても、学校法人立、宗教法人立等、設置形態は様々です。その中で学校法人立幼稚園は園地、園舎、設備等をすべて公に寄附し、純粋に幼児教育を目的として運営しています。

心の通ったスキンシップ教育

無限の可能性にあふれる子供達は、ちょっとしたことにも傷つきやすい若い芽です。この子供達を強く健やかに育てるために、当幼稚園では園長をはじめ担任の先生がひとつの輪になって、心の通ったあたたかい指導を心掛けています。また、クラスの園児数を年少組１５人程度・年長中組２５人程度と少人数に設定することで、より一人ひとりの子供に細かい指導ができるように心掛けています。

さらに経験豊かなベテラン教諭が、若い教諭の指導にあたっています。また、園内外での研修を定期的に行い、スキルアップを図っており、教育の質の向上に努めています。

きれい・安全な幼稚園

本園では､｢幼児の過ごす場所は衛生的で､安全でなければならない｣という考え方のもと、教職員による毎日の清掃・点検はもとより、専門業者による清掃・点検を定期的に実施しています。また、固定遊具下にゴムチップ・人工芝を敷設し、クレーグラウンド施工することにより、ケガの防止対策も行っています。

災害に備え、定期的な避難訓練の実施、非常食・飲料水の常備、ガラス・蛍光灯の飛散防止などの防災対策も行っています。また、本園は避難所にも指定されています。

子ども達のために―

当幼稚園は、一貫した教育理念に基づいて教育を行うと同時に、新しい時代の幼児教育を目指して、様々な試みも取り入れています。確固たる信念と創造工夫から生まれる教育。そこに子供達の幸せがあると信じています。

おうすの知育・体育・徳育

個性豊かなのびのび園児を育てます。

健康、人間関係、環境、言葉、表現の５領域に渡る、おうす独自のカリキュラム。秘められた可能性を引き出し、個性豊かな、生き生き伸び伸びとした園児を育てます。

知性を伸ばす

アプリ「あそんでまなぶ」を使った独自のカリュキュラム。動きや遊びのある言葉や数あそびの中で子ども達の知性を大きく伸ばします。

文字の読み書きは年中組から始め、卒園までにひらがなの読み書きができることを目標にしています。また、読み書きだけでなく、鉛筆の持ち方や姿勢も指導しています。

描く・創る

子ども達は、キャンバスに向かって、思い思いに描いたり、その小さな手で、色々なものを創り出したりします。子ども達の豊かな創造力を楽しくあそびながら見つけ出し、大きく育てます。

表現・リズム

オペレッタ、言語劇、歌、リトミック、ピアニカ、太鼓･･･。みんなで楽しく歌ったり、踊ったり、演奏したりします。音に対して敏感な幼児期に、美しい音に親しみながら良い耳を育てます。

跳ぶ

コーディネーショントレーニングを取り入れた指導で、心身ともに健やかなたくましい子に育てます。

※ コーディネーションとは「体を巧みに動かす能力」＝「調整力」のことをいいます。
脳から体までの回路をつくりながら、能力を高める運動が「コーディネーショントレーニング」です。

また、年長中児は週一回、体育講師による専門指導があります。

運動会、発表会などの行事は自園で実施しますので、遊戯や歌声など、子ども達の一生懸命な姿を間近でご覧いただくことができます。

こ・こ・ろのふれあう楽しい園生活

小さな個性を大きく伸ばします。

ぼくたち＆わたしたち

８：００	登　園 自由遊び	スクールバス、保護者の方の送迎により、登園します。 朝のあいさつ、荷物の片付け、体操服への着替えをして、園庭（教室）で楽しく自由に過ごします。
１０：００	おはじまり クラス活動	朝の礼拝をして、各クラスでの活動を行います。
１２：００	給　食	幼稚園で作った給食をみんなで楽しくいただきます。 ※ 献立立案・材料調達・調理など一冨士フードサービスに委託しています。 ※お弁当の日は、月１～４回あります。
１３：００	自由遊び	園庭（教室）で楽しく自由に過ごします。
１３：５０	降園準備	着替え、片付け、帰りの会をして、バスコースに分かれます。
１４：００	降　園	スクールバス、保護者の方の送迎により、降園します。

※　行事等によって変わることがあります。
※　１１時降園・１３時降園の日があります。
※　バス乗降場所は園が決定します。

★ ホームルーム（預かり保育）

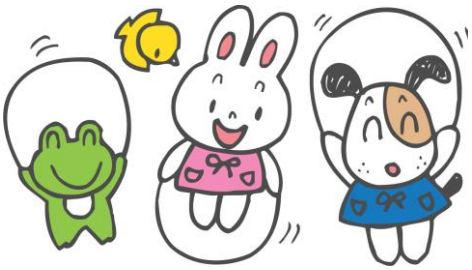
１４：００～１７：３０まで、保育時間を延長してお預かりします。

※ 行事等によって実施しない日があります。

※ 保育時間によって徴収金額が異なる場合があります。

★ 課外教室

- ◆ プレイルーム（学研）
- ◆ 音楽教室（ヤマハ）
- ◆ 体育教室（ハドルスポーツクラブ）
- ◆ スイミング（コパンスポーツクラブ名港）
- ◆ 英語教室（ＥＣＣ・2024 年 9 月開講）



の一日

友達とたくさん遊ぼうねっ！

おはようございます！！

朝の礼拝

上手に書けるかな？

絵本に夢中

いただきま～す！！

おうす

4月
入園式

5月
子どもの日
花まつり
春の遠足（年長中組）
保育参観

6月
個人懇談
プール指導

7月
七夕まつり
音楽会
サマーハイク（年長児）

8月
夏期保育
※約３週間
（自由登園含む）

9月
防災訓練

10月
運動会
いもほり

11月
秋の遠足（年少組）
報恩講

12月
発表会
クリスマス会

1月
保育参観

2月
節分
聖徳太子様御命日
作品展
個人懇談

3月
ひなまつり
お別れ会
お別れ遠足
卒園式

入 園 式

花まつり

七夕まつり

運動会

クリスマス会

お別れ遠足
(年長児：
名古屋港水族館)

の 一 年

春の遠足

プール指導

サマーハイク

運動会

いもほり

発表会

節分

作品展

卒園式

※　満３歳児は、一部参加・不参加等の場合があります。
※　毎月誕生会があります。
※　休園日：土日祝日／春・夏・冬休みなど（公立学校に準拠）
※　行事は変更になる場合があります。

よくある質問　Ｑ＆Ａ

Ｑ　一クラスの園児数は？

Ａ　満３歳児及び年少児１５人程度・年長中児２５人程度としています。担任教諭１名での担当、集団生活での体験、小学一年生が３０人学級であることなどを考慮し、本園では満３歳児及び年少児１５人程度・年長中児２５人程度が適切であると考えています。

Ｑ　楽器は何を使いますか？

Ａ　年長組になるとピアニカ指導を行います。
また、鉄筋・ザイロフォーン・大太鼓・小太鼓・タンバリン・カスタネット・ミュージックベルなど、園にある楽器に触れる機会も設けています。
※感染症対策で代替楽器となる場合もあります。

Ｑ　給食は？

Ａ　給食業務を一冨士フードサービス株式会社に委託しています。献立立案・材料調達・調理などを「食のプロ」が担当することで、安全面・衛生面・栄養面でご安心いただけます。
また、園内で調理しているので、園児達も給食士と顔を合わせることができ、情操教育にも効果があります。

Ｑ　お弁当は？

Ａ　年間で１０日間程度あります。
原則、行事（遠足など）によりお弁当の日を設定しています。ただし、行事がない月でも、お弁当の日を設けている場合があります。

Ｑ　親子遠足はありますか？

Ａ　園外での社会性を学んだり、自然と触れ合うことを目的とし、園児だけで出掛けます。
また、スクールバスを利用するため、余分な経費はかかりません。

Ｑ　スクールバスの運行範囲は？

Ａ　以下の小学校区を中心に運行しています。
明徳・当知・西中島・中島・高木・神宮寺・小碓・正保・南陽・福田・荒子など
※　スクールバス運行範囲外になる場合は、入園前にご連絡させていただきます。

Ｑ　保護者が園に来なければならない行事は？

Ａ　年間で８回程度になります。また、本園では土日祝日に行事はありません。
保育参観（５月・１月）・個人懇談（６月・２月）・音楽会（７月）・運動会（１０月）・発表会（１２月）・誕生会（誕生月）
他にも入園式・卒園式などがあります。

設 備

- 敷地：総面積　２，４００㎡
  運動場　１，２００㎡
  （クレーグランド）
- スクールバス：マイクロバス１台
  ワゴン１台

- 教室数：１０室（全室エアコン・空気清浄機完備）
- その他の教室：コンピュータ室、音楽室、給食室、職員室、事務室
- 教室：ピアノ、ＣＤラジカセ、ままごとキッチンセット、大型ソフト積木等
- 遊戯室：音響、照明、ビデオプロジェクト、グランドピアノ、エアコン
- 運動器具：マット、とび箱、巧技台セット等
- 教育設備：アンドロイド端末（あそんでまなぶ）、エレクトーン、楽器類等
- 絵本・紙芝居：５，０００冊以上
- ＣＤ・カセット：１，０００枚以上
- 遊具：コンパン遊具等

◆ 子育て支援事業

- ホームルーム（預かり保育）

  通常保育終了後、仕事等の事情でお子さんを迎えに来られない場合、時間を延長して保育します。預かることが目的ではなく、幼稚園として保育することに主眼を置いた保育内容です。

- 名古屋市地域子育て支援拠点「おうす」

  未就園児の親子を対象とした交流会や、親子教室、講習会、相談会等を行います。幼稚園教諭の経験を持つ子育て支援員がお待ちしております。ぜひ、遊びに来てください。

※ 詳細については、本園までお尋ねください。

メモ

※ お越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。

（市バス当知一丁目バス停より、徒歩５分）

学校法人　松若学園

小 碓 幼 稚 園

〒455-0801

名古屋市港区小碓３丁目１３４番地

TEL 052-382-1015

FAX 052-384-7135

http://www.ousu.ed.jp

本パンフレットの写真の撮影及び、作成、製本は職員で行いました。

〔　　〕

2024 年 9 月作成